

福島第一原子力発電所2号機および3号機における 原子炉建屋中地下階の現場調査について

調査目的

トラス室内での原子炉冷却水の漏えいルート（損傷部位）、トラス室内への地下水流入部位の把握、およびトラス室の作業環境の把握等を行うため、今後、トラス室内の調査を計画しており、今回はその事前調査として、トラス室へ繋がる2号機および3号機における原子炉中地下階の現場調査を行う（1号機原子炉建屋は滞留水水位が中地下階床面を越えて推移していることから、今回は調査対象外）。

トラス室：非常用炉心冷却系の水源として用いる水を擁する大きなドーナツ状の圧力抑制室を収納する部屋。
原子炉格納容器の下部に、同容器を囲む様に配置されている。

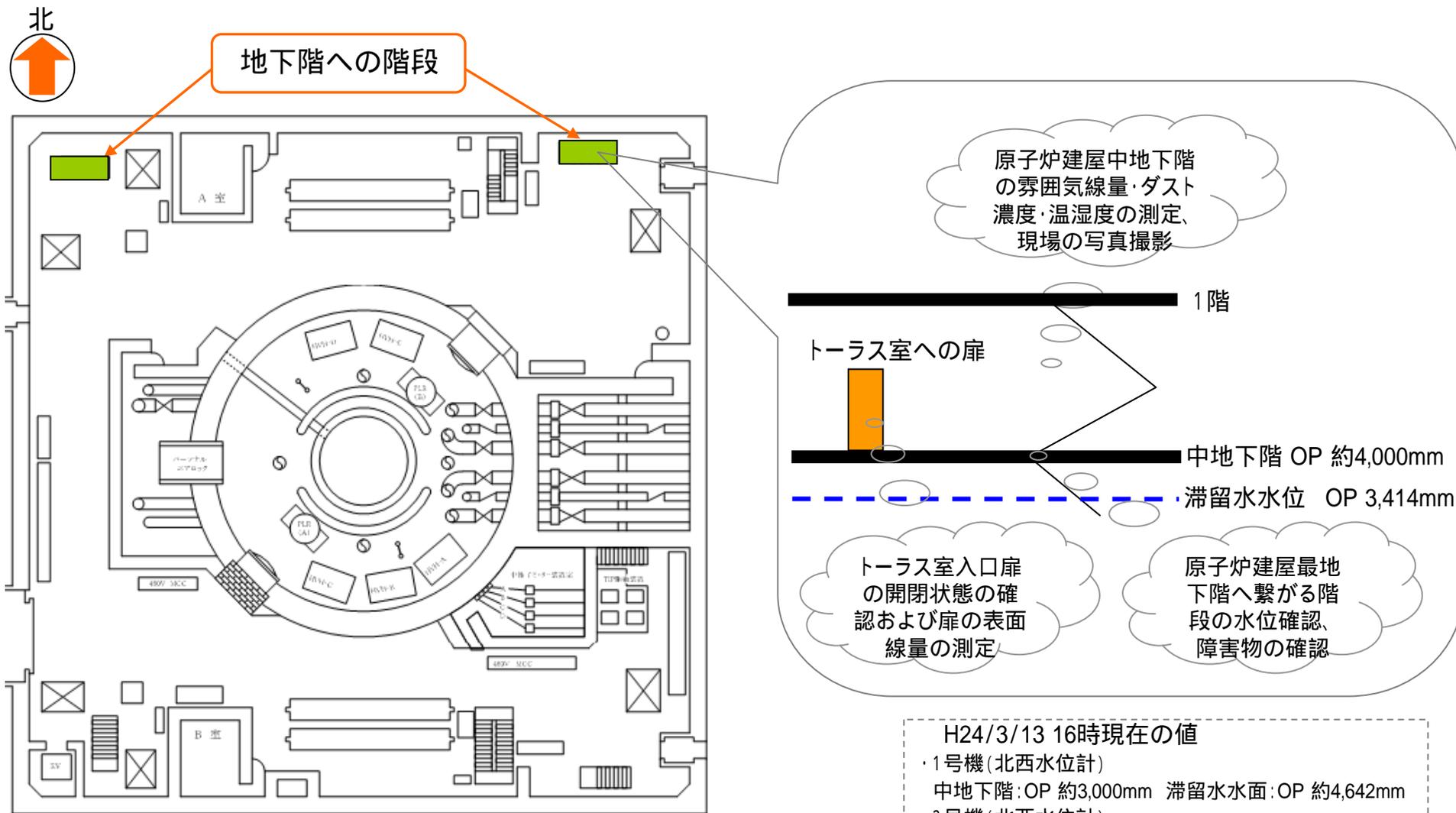
調査内容（予定）

- ・原子炉建屋中地下階の雰囲気線量・ダスト濃度・温湿度の測定、現場の写真撮影
- ・トラス室入口扉の開閉状態の確認および扉の表面線量の測定
- ・原子炉建屋最地下階へ繋がる階段の水位確認、障害物の確認

作業体制（予定）

- ・調査日：平成24年3月14日 12:00～12:30
- ・作業員：当社社員4名
- ・計画線量：10 mSv/名
- ・場所：2号機原子炉建屋中地下階 北東コーナー・北西コーナー
3号機原子炉建屋中地下階 北東コーナー

調査箇所について（例：2号機原子炉建屋中地下階北東コーナー）



< 2号機原子炉建屋 1階 >

H24/3/13 16時現在の値

- ・1号機(北西水位計)
中地下階:OP 約3,000mm 滞留水水面:OP 約4,642mm
- ・2号機(北西水位計)
中地下階:OP 約4,000mm 滞留水水面:OP 約3,414mm
- ・3号機(北東水位計)
中地下階:OP 約4,000mm 滞留水水面:OP 3,406mm